

令和6年度 江戸川区立一之江第二学校 人権教育 年間指導計画（第4学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『『人権教育プログラム（学校教育編）』p14 人権教育の年間指導計画（例）』を必ず参照し作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、**個別的な視点からの取組を中心に**関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育の目標に関わる学級の目標を設定する。		自分の大切さを認めることを中心とした指導		他の人の大切さを認めることを中心とした指導			互いの大切さを認めることを中心とした指導			
各教科・読書科	国語 「あかあか」の読みと書き。必要に応じて自分の考えを述べ、話し合いを通して自分の考えを明らかにし、互いの考えを尊重することができる。 理科 「季節と生物」 生物を保護する態度を育て、動物の活動や植物の成長と環境の関わりについて見方や考え方をもちることができる。	国語 「白い花」 「様子や行動、気持ちや性格を表す」の語彙を、語や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。 ・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。	国語 「一つの花」 「登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面や場面を結びつけて具体的に想像することができる。」 保健体育 「音ちか体とわたし」 健康な生活及び体の発育・発達について理解し、身近な生活において健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。	国語 「あだから、どうぞ」 「考えとそれを支える理由との関係について理解することができる。」 ・目的を明確にして話し合い、互いの意見の共通点や相違点を整理して、考えをまとめることができる。	国語 「ことづつ」 「言葉には性質による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすることができる。」 ・文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもちることができる。	国語 「未来につなぐ」 「自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。」 ・目的意識を持って、中心となる語や文を見つけて要約することができる。	国語 「誰がでんぱう」 考えとそれを支える理由や事例、全体を中心とした構図や構図の関係を理解することができる。	国語 「心の動いたことを言葉に」 書こうとしたことが明確になっているのを、同じく感じる感情や意見を伝え合い、自分の文章のおもしろさを見つけることができる。			
特別の教科 道徳	友情・信頼、助け合い 友達がお互いを理解し、信頼して、助け合おうとする気持ち。	思いやり・親切 お年寄りや困っている人に対する思いやりの気持ちを、積極的に伝えようとする心育てる。	自然観・環境物産観 自然のすばらしさにふれ、自然や動物を大切にしようとする気持ちを育てる。	思いやり・親切 相手の気持ちを思いやり、親切にしようとする心育てる。	友情・信頼、助け合い 友だちと助け合い、助け合おうと、友達を助けて、心育てる。	読書心 外国の人々やその文化に関心をもち、自分の読書の経験や文化を大事にすることに気づき、自らの国を大事にしようとする心育てる。	友情・信頼、助け合い 友だちの気持ちや立場を理解し、助け合おうとする心育てる。	思いやり・親切 相手の立場や気持ちから理解して、進んで親切にしようとする心育てる。【子飼】	生命尊重 生命の尊厳を知り、生命あるものを大切にしようとする心育てる。	個性伸張 自分のことをよく知り、よいところを伸ばそうとする態度を育てる。	個性伸張 友達やよい所悪い所を数え合うことにより、だれにでも長所や短所があり、ご自分の特徴を知って長所を積極的に伸ばそうとする心育てる。
総合的な学習の時間		「人にやさしい町づくり」① インターネットや書籍でバリアフリーやユニバーサルデザインについて調べたり、出前ボランティア体験をしたりすることを通して、町の中には、障害者やお年寄りにとって便利な施設や設備があることに気づかせる。【障害者】		「人にやさしい町づくり」② 自分たちの町の施設や設備を調べ、調べること、その設備や施設がなぜ必要なのかを調べ、町には自分たちだけでなく、いろいろな立場の人が住んでいることに気づき、人を思いやる心育てる。町に住むみんなが、暮らしやすくなるためにはどうすればいいかを考え、互いに助け合って共に生きていく心育てる。【障害者】		「二分の一人式をしよう」 自分の成長を振り返り本にまわっていく中で、たくさんの人々と関わり愛を持って育てられたことを知り、自分も友達もいけがえのない大事な存在であることを認識し、将来に夢や希望をもち、自他を大切にしようとする心育てる。					
特別活動	1年生を迎える会 1年生に歓迎の気持ちを伝える。									6年生を送る会 6年生に感謝の気持ちを表す。	
その他	いち・にの・くれよん（保護者ボランティア）による読み聞かせ										
	保護者会 家庭と連絡を取り、児童の実態を把握する。	個人面談	保護者相談日	保護者会	保護者相談日	道徳授業地区公開講座 道徳教育の取り組みと大切さを伝え連携をとる。	個人面談 家庭と連携を取り、児童理解を深める。	保護者相談日	保護者会		

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ↔ =関連的な指導 =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。